

2020年度 京都ボランティア協会 公開講座

シンポジウム

介護保険制度施行20年

介護サービスの今とこれから・・・

～「長寿化」・「重度化」に向き合う介護のあり方を探る～

■日 時 : 令和2年11月28日(土) 13:30～16:00 (受付13:00～)

■会 場 : 『ひと・まち交流館 京都』2階 大会議室

■定 員 : 70名(申込順 コロナ禍に配慮し定員の制限を行っています)



■基調講演 : 立命館大学 産業社会学部 教授 津止 正敏 氏

内容：今から20年前、21世紀を迎えた「厚生白書」には「世界一長寿国日本」の超高齢社会の諸問題が掲げられ、本格的な高齢社会の到来に対し、高齢者を社会全体で支えるしくみとして「介護保険制度」が創設されました。その理念は「自立支援」であり、多様なサービスを選択できる「利用者本位」の制度とし、「高齢になっても住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らせる地域社会をつくる」ことにありました。

以来20年・・・今日では、加齢に伴う要介護者の増加、介護期間の長期化と重度化により、介護ニーズが増大し多様な課題が生じてきました。

こうした今日状況の中で、介護・福祉分野における介護サービスの提供状況は何かどのように変わり、高齢者介護に向き合う問題と課題は何か。など、質の向上につなぐこれからのサービス提供のあり方を考える「羅針盤」となるよう、ご講演をいただきます。

■シンポジスト：○ 高齢者・認知症の介護者から発表

認知症の人と家族の会京都府支部代表 荒牧 敦子 氏

○ 地域・在宅の包括的介護支援から発表

京都市西京・南部地域包括支援センター長 中平 克樹 氏

○ 入所施設介護の視点から発表

特別養護老人ホーム同和園 園長 橋本 武也 氏

■コーディネーター： 京都ボランティア協会 第三者・外部評価調査者 代表 村尾 幸作

主 催 : 一般社団法人 京都ボランティア協会

後 援 : 京都府社会福祉協議会・京都市社会福祉協議会・京都新聞社会福祉事業団

参 加 料 : 無 料 (どなたでも参加できます)

申 込 締 切 : 令和2年11月20日(金) 厳守

お 問 合 せ : 担当: 澤山 TEL 075-354-8714 ・ FAX 075-354-8715

E-mail : kyovola@adagio.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.kyoto-v.info>